

令和6年度

# 棚倉町の概要

福島県棚倉町

(令和6年10月編集)

## 町章



昭和48年11月3日制定

棚倉町の「た」の字を図案化したもので町民の融和と団結をあらわし、飛躍する町勢の前進を象徴したものです。

## シンボルキャラクター



たなちゃん

あたまには、町の花「つつじ」を月桂冠に見立て、そこからちよんまげがチョコント。スポーツをイメージするギリシャのキトンを身にまとい、足元は「ぞうり」を履いて、元気一杯に躍進していく「たなぐらまち」を表現したものです。

## 棚倉町町民憲章

棚倉町は、美しい自然にめぐまれ、古い歴史をもつ、由緒ある町です。

この町をさらに希望あふれる町に育て、後世に引き継ぐことは、私たちのつとめです。

このため町民みんなの誓いとして、ここに町民憲章を定めます。

- 1、自然を愛し 緑の町 「たなぐら」 をつくりましょう。
- 2、心身をきたえ 健康な町 「たなぐら」 をつくりましょう。
- 3、きまりを守り 明るい町 「たなぐら」 をつくりましょう。
- 4、教養を深め 文化の町 「たなぐら」 をつくりましょう。
- 5、勤労に励み 伸びゆく町 「たなぐら」 をつくりましょう。

〈行政〉	町長	宮川政夫	R6/9/8～
	副町長	渡邊崇史	R6/4/1～
	教育長	荒川文雄	R3/4/1～
〈議会〉	議長	佐藤喜一	R6/1/4～
	副議長	藤田智之	R6/1/4～

## 1 沿 革

本町の歴史は古く、すでに10,000年以上も前に生活を営んでいた形跡が、胡麻沢遺跡等から発見された石器類によって判明しており、縄文・弥生・古墳時代においても、町内に分布する出土品から、この地に高い文化が発達していたことがうかがわれます。

奈良・平安時代においても、当地方の文化の中心であったことが、松並平遺跡からも推測されます。

中世になると、白河結城氏、佐竹氏、伊達氏など有力武士による抗争が繰り返され、江戸時代に入り、慶長11年(1606年)に立花宗茂が棚倉領主となりました。元和8年(1622年)には、丹羽長重が領主となり、寛永元年(1624年)、二代将軍秀忠公より棚倉城築城の命を受け、翌年の寛永2年(1625年)に築城を開始し、初代城主となって以来、城主は8家16代にわたり、慶応4年(1868年)戊辰戦争で落城するまでの244年間、棚倉藩六万石の城下町として、棚倉は政治・経済・文化の中心地・交通の要所として栄えました。

明治4年の廃藩置県を経て、同22年町村施行令によって、棚倉町、社川村、高野村、近津・山岡組合村が誕生し、昭和30年1月1日これら1町3カ村が合併し、新生「棚倉町」として発足し、現在に至っております。

## 2 位 置

棚倉町は、福島県の南部に位置し、総面積159.93km<sup>2</sup>を有し、東に鮫川村・浅川町、西は栃木県那須町・大田原市、南は塙町・矢祭町・茨城県大子町、北は白河市と接しております。

道路は、国道118号線が南北に、289号線が東西に通じ、主要地方道3路線、一般県道7路線が放射状に伸びているほか、JR水郡線が南北に、JRバス白棚線が白河市に通じ、東白川地方の交通の要衝になっており、東北自動車道白河IC及び東北新幹線新白河駅までは車で40分の範囲にあります。

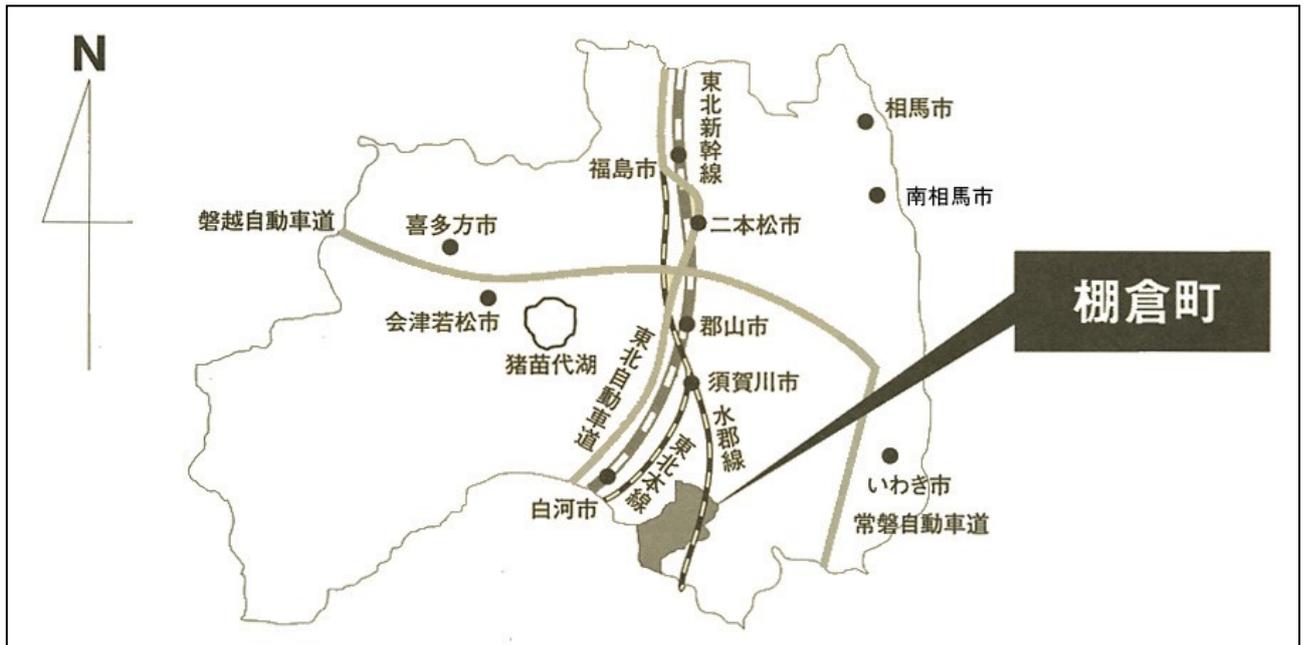
## 3 自 然

世界的に魅力的な都市が多い北緯37度に位置する棚倉町は、清涼さわやかな気象状況にあり、冬は温暖で四季を通じて極めて住みよい自然環境を有しております。

地形については、阿武隈山系に属するなだらかな丘陵地からなる東部地域、阿武隈川水系に属する社川によって拓かれた北部地域、久慈川の源流を有する八溝山系の急峻な山岳地帯で形成されている西部地域、久慈川によって拓かれた南部地域等、極めて変化に富んでおり、農業・林業・畜産とすべてに適した条件を有しております。

気象は、北関東地域に類似し、降水量は適度であり、積雪量も極めて少なく、台風の被害もほとんどみられず、山間地にありながら生活・生産環境としては、恵まれた条件のもとにあります。

## 位置図



### ●地勢

面積	159.93 km <sup>2</sup> (国土地理院発表)
広がり	東西19.6km、南北17.4km
標高	八溝山1,022.2m、役場253.9m
極位(役場)	東経140度22分、北緯37度01分

### ●市町村間距離



### まちづくり基本理念

今後のまちづくりを「自立と協働」の視点で進めつつ、住民がまちづくりに主体的に参加しながら、相互に尊重し協力し合い、家族や地域でのつながりを大切にし、ふるさと棚倉町の歴史や文化、自然環境を守り愛着を持って安全安心で健やかに暮らすことを目指し、次の3つを基本理念とします。

「住民が主役のまち」「安心で優しいまち」「誇りと愛着のもてるまち」

### めざす将来像

『人を・心を・時をつなぐ たなぐらまち』

～ ほっとするわたしのふるさと ～

#### 4 人口・世帯数

資料：国勢調査（総務省統計局）・現住人口調査

年月日	総人口	男	女	世帯数	備考
17.10.1	15,795人	7,779人	8,016人	4,803世帯	国勢調査
22.10.1	15,062	7,393	7,669	4,708	国勢調査
27.10.1	14,302	7,048	7,254	4,734	国勢調査
2.10.1	13,343	6,581	6,762	4,728	国勢調査
6.4.1	12,919	6,392	6,527	5,108	現住人口調査

#### 産業別人口

資料：国勢調査（総務省統計局）

年	総数	第1次産業		第2次産業		第3次産業	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
※22	6,779人	439人	6.5%	2,938人	43.3%	3,402人	50.2%
27	7,732	765	10.2	3,127	41.8	3,587	48.0
2	6,670	525	8.0	2,773	42.3	3,258	49.7

※22年の数値は、分類不能の産業人口(653人)を含まない。

#### 5 土地利用の現況

資料：2020農林業センサス

区分	総数	森林	耕地				その他
			田	畑	樹園地	小計	
面積 (ha)	15,993	11,880	993	175	8	1,176	2,937
比率 (%)	100.0	74.3	6.2	1.1	0.1	7.4	18.4



## 6 産 業

### (1) 農 業

資料：農林業センサス

年	経 営 体							※基幹的農業従事者数
	総数	主 業		準主業		副業的		
2	650経営体	64経営体	9.8%	100経営体	15.4%	486経営体	74.8%	606人

※基幹的農業従事者：ふだん仕事として主に自営農業に従事している者

主要生産物 資料：米は棚倉町農業再生協議会資料（令和5年作付け実績）、  
その他は2020農林業センサス等

作目名	米	そ ば	こんにゃく	か き	ト マ ト	ばれいしょ	大 豆	肉用牛頭数
作付面積	670 ha	9.63 ha	1.29 ha	1.45 ha	0.86 ha	2.13 ha	0.38 ha	1,338頭

### (2) 林 業

資料：農林業センサス

年	林家数(戸)	面 積 (ha)			林野率 (%)		
		総面積	国有林	民有林	総 計	国有林	民有林
22	716	11,923	5,550	6,373	74.6	34.7	39.9
27	688	11,917	5,533	6,384	74.5	34.6	39.9
2	608	11,880	5,507	6,373	74.3	34.4	39.8

[参考] 町有地 309,401㎡ 分収林 73,238㎡

### (3) 商 業

資料：経済センサス・活動調査

年	総 数		卸 売 業		小 売 業	
	商店数	従業員数	商店数	従業員数	商店数	従業員数
※26	172	940	25	93	147	847
28	193	1,253	22	99	171	1,154
3	162	1,041	20	96	142	945

※26年の数値は、商業統計・経済センサス

### (4) 工 業

資料：工業統計

年	事業所数	従 業 員 数			製 造 品 出荷額等 (万円)
		総 数	常 用 労 働 者		
			男	女	
29	47	2,192	1,778	414	9,186,826
30	48	2,254	1,821	430	9,514,663
元	46	2,052	1,674	378	9,243,108
2	※経済センサス-活動調査実施により中止				

## 7 公共施設の状況

小学校	4校	32学級	児童数	625人 (R6.5.1現在)
中学校	1校	16学級	生徒数	364人 (R6.5.1現在)
幼稚園	3園	13学級	園児数	210人 (R6.5.1現在)
保育園	1園		入園児数	90人 (R6.4.1現在)
給食センター	1日当り	1,337食		(R6.4.1現在)

### 保健福祉センター

令和5年度	乳幼児健康診査受診者数	280人
	健康診査受診者数	2,333人
	がん検診等受診者数	5,296人
	母子保健事業参加人数	1,891人
	健康増進事業参加人数	2,003人
	介護予防事業利用人数	8,128人

町営住宅 192戸 (R6.4.1現在)

図書館	蔵書	78,799冊
	5年度 貸出冊数	31,604冊
	5年度 利用者数	20,377人

上水道	5年度末	給水人口	12,719人
			(うち簡水633人)
		給水世帯	5,024戸
			(うち簡水203戸)
		水道普及率	98.45%

下水道	5年度末	接続戸数	1,477戸
			(うち農集排297戸)

体育館	5年度	利用人員	31,040人
運動広場	5年度	利用人員	24,499人
文化センター	5年度	利用人員	2,441人
子どもセンター	5年度	利用人員	8,505人

## 8 財政の状況

(単位：千円)

区 分	年 度	
	令和 5 年度当初予算	令和 6 年度当初予算
一 般 会 計	6,983,000	7,560,000
国民健康保険特別会計	1,250,454	1,220,031
後期高齢者医療特別会計	156,383	161,066
介護保険特別会計	1,514,326	1,549,082
霊園整備事業特別会計	1,778	727

上水道事業会計		
収益的収支 収入	370,465	365,677
" 支出	339,063	345,366
資本的収支 収入	162,883	146,951
" 支出	295,674	286,635
簡易水道事業会計		
収益的収支 収入		50,401
" 支出		45,159
資本的収支 収入		10,290
" 支出		19,119
下水道事業会計		
収益的収支 収入		340,126
" 支出		338,188
資本的収支 収入		174,460
" 支出		244,468

## 9 議 会

議員定数	14人
定例会会議	年4回(3月、6月、9月、12月)
常任委員会	総務常任委員会 9名
	建設経済常任委員会 7名
	厚生文教常任委員会 7名
	広報編集常任委員会 5名

## 昭和30年

- 1月 棚倉町、社川村、高野村、近津・山岡組合村の1町3村が合併。新町名を「棚倉町」とし、役場を大字棚倉字城跡2番地に置く
- 1月 合併後初の議会（議員数74名）が招集。棚倉小学校講堂で臨時議会が開催
- 4月 合併祝賀町民観桜大会が棚倉城跡で開催
- 12月 庁舎を城跡2番地に改築
- 12月 合併後初の町議会選挙（定数26名）が執行

## 昭和31年

- 4月 棚倉幼稚園を開設
- 10月 町内に初めての舗装道路が完成（国道118号線、新町地内、延長436m）

## 昭和32年

- 4月 各支所の名称を連絡所に改める
- 4月 国鉄バス白棚高速線が開通
- 7月 旧町村単位の地区農業委員会が合併し、町農業委員会となる

## 昭和33年

- 10月 国民健康保険診療所を開設

## 昭和34年

- 11月 水郡線が全面ディーゼル化

## 昭和35年

- 10月 町商工会が設立

## 昭和36年

- 1月 近津小学校が町内初の完全給食を始める
- 4月 各連絡所の名称を出張所に改める

## 昭和37年

- 4月 東白川地方衛生処理組合が設立

## 昭和38年

- 3月 社川小学校玉野分校及び近津小学校山本分校が廃校
- 5月 社川小学校校舎を改築（木造2階建）

## 昭和39年

- 1月 棚倉町観光協会設立
- 6月 東白川地方衛生処理組合がし尿汲み取り事業開始

## 昭和40年

- 1月 近津小学校校舎を改築（鉄筋コンクリート3階建）
- 1月 合併10周年記念事業として、行政区対抗駅伝競走が開催
- 1月 合併10周年記念式典を行う
- 3月 高野小学校久慈川分校が廃校
- 10月 町道で初めての舗装道路が完成（北町地内、延長140m）

## 昭和41年

- 4月 天王内地内にほ場整備事業で一区画30アールの大型ほ場が完成
- 6月 棚倉電報電話局内の電話が手動式から自動式に変わる（加入台数999台）
- 11月 棚倉町助産所を開設

## 昭和42年

- 4月 町社会福祉協議会に心配ごと相談所が開設
- 7月 議員定数を削減する条例が制定（定数22名）

## 昭和43年

- 3月 棚倉小学校校舎を改築（鉄筋コンクリート3階建）
- 5月 東白川地方衛生処理組合がゴミ収集事業開始
- 5月 「市町村振興計画作成モデル町村」に指定され、棚倉町振興計画を策定
- 6月 上水道の給水が開始（古町、南町、城跡、鉄炮町、下町地内）
- 12月 高野、山岡地区が振興山村地域に指定

## 昭和44年

- 1月 山岡小学校校舎を改築（木造2階建）
- 3月 地域農集電話が開通（加入台数1,119台）
- 4月 棚倉幼稚園近津分園が開設
- 4月 各出張所を廃止し、本庁に窓口業務を一本化

## 昭和45年

- 3月 棚倉城跡に中央公民館を建設
- 5月 棚倉小学校に学校給食センターが完成し、棚倉小学校、棚倉幼稚園、4つの中学校を対象に給食を開始
- 7月 棚倉小学校に町内初の学校プールが完成
- 11月 白河地方広域市町村圏整備組合に加入
- 12月 近津地区が振興山村地域に指定

## 昭和46年

- 4月 4つの中学校が統合され、棚倉中学校となる

## 昭和47年

- 1月 埼玉県川越市と「友好都市盟約」を締結
- 4月 白河地方広域市町村圏白河消防署の分署が町に置かれる
- 8月 川越市と剣道交歓会が始まる
- 11月 「棚倉町町民憲章」を制定

## 昭和48年

- 3月 統合された棚倉中学校の新校舎が完成
- 4月 棚倉幼稚園社川分園が開設
- 11月 新しい町章、町の木、町の花を制定

## 昭和49年

- 6月 環境週間の一環事業として、河川清掃を始める

## 昭和50年

- 3月 棚倉幼稚園の園舎が完成
- 8月 旧棚倉中学校跡地を棚倉運動広場として整備
- 11月 合併20周年記念式典を行う

## 昭和51年

- 4月 国土調査（地籍調査）事業が20年計画で始まる
- 7月 旧近津中学校跡地を近津運動広場として整備
- 8月 棚倉農村勤労福祉センター（町民プール）完成

## 昭和52年

- 1月 旧社川中学校跡地を社川運動広場として整備
- 3月 棚倉町総合体育館が完成

## 昭和53年

- 8月 全国高等学校総合体育大会自転車ロードレース大会開催
- 12月 町立では県内初の図書館が完成
- 12月 第2次棚倉町振興計画を策定

## 昭和54年

- 2月 高野小学校新校舎完成（鉄筋コンクリート3階建）
- 3月 高野小学校戸中分校が廃校
- 4月 学校給食センターが完成し、町内全ての幼稚園、小学校、中学校への給食業務を開始

## 昭和55年

- 1月 コンピューターによる住民情報管理システム導入
- 8月 町民総合体育大会を始める
- 10月 棚倉運動広場に夜間照明施設を設置

## 昭和56年

- 3月 棚倉小学校屋内運動場完成

## 昭和57年

- 3月 ため池跡地を金沢内運動広場として整備
- 4月 高野に第四幼稚園を開設
- 9月 役場庁舎を中居野33番地に新築・移転
- 10月 国道118号線バイパス工事着工
- 10月 新庁舎で業務開始

## 昭和58年

- 3月 町史編さん事業が完了
- 3月 高野小学校瀬ヶ野分校が廃校
- 4月 国土庁から「農村総合整備計画」作成市町村に指定
- 9月 議員定数を削減する条例が制定（定数20名）

## 昭和59年

- 5月 川越市と「友好の森林」づくり協定調印式と記念植樹が行われる
- 11月 第1回全日本実業団サイクルロードレース棚倉・塙・矢祭大会開催

## 昭和60年

- 4月 農村総合整備モデル事業に着手
- 4月 山本いこいの村オープン
- 11月 合併30周年記念式典を行う
- 12月 第3次振興計画策定

## 昭和61年

- 9月 スパルタ市と国際友好都市締結
- 11月 首都圏在住者で組織する「東京棚倉会」結成
- 12月 リゾートスポーツプラザ「ルネサンス棚倉」の運営会社、(株)ルネサンス棚倉設立

## 昭和62年

- 3月 財団法人棚倉町活性化協会設立
- 3月 棚倉町シルバー人材センター設立

## 昭和63年

- 3月 赤館公園が整備される
- 6月 棚倉町国際交流祭開催

## 平成元年

- 1月 近津幼稚園園舎完成
- 4月 特別養護老人ホーム「寿恵園」開設
- 10月 「寿恵園」内にデイサービスセンター設置

## 平成2年

- 4月 ルネサンス棚倉オープン
- 4月 国道118号線バイパス一部供用開始

## 平成3年

- 3月 社川幼稚園新園舎完成
- 3月 近津小学校屋内運動場完成
- 4月 スパルタ市民公式訪問
- 11月 棚倉六万石太鼓・棚倉バサラ音頭制作発表

## 平成4年

- 3月 町営住宅西中居団地完成
- 9月 公共下水道事業着手
- 11月 富岡テレビジョン中継施設により民放4社の中継開始

## 平成5年

- 2月 「寿恵園」内にショートステイ専用床（10床）設置
- 11月 県南地方総合防災訓練を実施

## 平成6年

- 3月 棚倉消防署が館ヶ丘73番地に移転
- 5月 レイクマコーリー市と「国際友好都市」締結
- 6月 棚倉町文化センター建築工事着手
- 7月 ふくしま国体リハーサル大会開催
- 12月 第4次振興計画策定

## 平成7年

- 1月 町防災行政無線一部運用開始
- 3月 ルネサンス棚倉に交流研修館完成
- 10月 第50回国民体育大会（ふくしま国体）開催
- 11月 合併40周年記念式典
- 11月 町文化センター（倉美館）オープン

## 平成8年

- 5月 町防災行政無線定時放送開始
- 9月 全日本社会人ホッケー大会開催

## 平成9年

- 2月 社川小学校新校舎完成
- 3月 棚倉町シンボルキャラクター「たなちゃん」誕生
- 4月 町営住宅愛宕平団地完成
- 4月 公共下水道・農業集落排水施設使用開始

## 平成10年

- 2月 社川小学校屋内運動場完成

## 平成11年

- 1月 「トークの日」スタート
- 1月 川越市と「災害時における相互応援に関する協定」締結
- 3月 日向前ニュータウン分譲開始
- 9月 棚倉、近津、社川の3郵便局、町内タクシー会社4社で、「不法投棄等の情報提供に関する協定」を締結
- 10月 棚倉幼稚園で預かり保育スタート
- 10月 棚倉町総合行政情報システム稼動

## 平成12年

- 3月 棚倉小学校プール完成
- 4月 棚倉町情報公開制度スタート
- 4月 棚倉町都市計画マスタープラン策定
- 10月 ISO14001県内の自治体で初の認証取得
- 12月 国道118号線バイパス開通

## 平成13年

- 4月 亀ヶ城公園トイレ完成
- 6月 戸籍電算システム稼動
- 8月 地域づくり実践カレッジ in 棚倉開催

## 平成14年

- 3月 町道富岡・三森線開通
- 3月 国道118号バイパス全線開通(全長1,448m)
- 3月 たなぐら霊園第1期分譲(100区画)
- 4月 棚倉運動広場に「ふれあい駅(公衆トイレ)」完成
- 4月 幼稚園送迎バス運行開始
- 4月 ルネサンス棚倉宿泊客70万人突破
- 7月 棚倉町・埜町・鮫川村合併協議会設置
- 9月 議員定数を削減する条例が制定(定数16名)
- 10月 豪州レイクマコーリー市と「国際姉妹都市」調印
- 12月 川越市との交流30周年を迎える

## 平成15年

- 3月 県道黒磯棚倉線「強梨バイパス」開通
- 4月 「棚倉町個人情報保護条例」施行
- 4月 保健福祉センター業務開始
- 5月 合併に関する住民説明会が町内各地で開催
- 6月 TMO「㈱まち工房たなぐら」設立
- 7月 合併の賛否を問う「住民投票」実施
- 12月 たなぐら霊園第2期分譲(130区画)

## 平成16年

- 2月 八槻都々古別神社「御田植」国重要無形民俗文化財指定
- 4月 棚倉「時の鐘」完成
- 6月 社川小学校プール完成
- 9月 第5次振興計画策定

## 平成17年

- 4月 堀川ダムから受水開始
- 4月 新・棚倉町学校給食センター業務開始
- 6月 つどいの小径ランドオープン
- 7月 城跡多目的広場オープン
- 9月 証明書自動交付機稼動

## 平成18年

- 4月 町無料職業紹介所を開設
- 4月 「石澤家茶室」「八槻都々古別神社大般若経」を町有形文化財に指定
- 9月 県南地方総合防災訓練を実施
- 10月 第1回城下町棚倉わくわくフェスタを開催

## 平成19年

- 4月 幼稚園・小学校において2学期制開始
- 5月 東洋シャフト(株)との工場立地基本協定を締結
- 10月 棚倉小学校校舎耐震改修工事完成
- 11月 工房愛あい館オープン

## 平成20年

- 7月 町内の建設業者10社で「災害時における応急対策業務の支援に関する協定」を締結
- 10月 第20回全国生涯学習フェスティバル in 棚倉開催
- 12月 近津小学校校舎耐震改修工事完成

## 平成21年

- 4月 棚倉高校と農商高校が統合し、福島県立修明高校が開校
- 12月 国道118号棚倉バイパス工事「宮橋」完成

## 平成22年

- 4月 棚倉町子どもセンターオープン
- 6月 町内の水道業者10社で「災害時における応急対策業務の支援に関する協定」を締結
- 12月 議員定数を削減する条例が制定(定数14名)

## 平成23年

- 2月 棚倉中学校校舎耐震改修工事完成
- 3月 東日本大震災・福島第一原子力発電所事故発生
- 4月 全国瞬時警報システム(J-ALERT)運用開始
- 6月 棚倉町茶室オープン
- 8月 第35回全国高等学校総合文化祭(ふくしま総文)開催
- 9月 ISO14001永年登録表彰受賞
- 9月 スパルタ市へ招待訪問
- 11月 食品放射能測定システム導入

## 平成24年

- 1月 棚倉小学校屋内運動場耐震改修工事完成
- 2月 棚倉中学校屋内運動場及び柔剣道場耐震改修工事完成
- 3月 被災により中央公民館を解体
- 3月 町内幼稚園園庭、小・中学校校庭表土除去完了
- 3月 町内幼稚園、小・中学校空調設備設置完了
- 3月 LED電光掲示板設置(役場庁舎前・磐城棚倉駅前)
- 3月 地上アナログ放送が終了
- 4月 神奈川県横浜市鶴見区と「友好交流協定」締結
- 5月 金環日食を観測
- 6月 東京電力の自主的避難等に係る賠償金請求開始
- 9月 米の全量全袋検査開始

## 平成25年

- 2月 棚倉幼稚園新園舎完成
- 2月 高野小学校(幼稚園)校舎耐震改修工事完成
- 2月 緊急速報メール配信開始
- 3月 町 Facebook 開設
- 3月 JA東西しらかわファーマーズマーケットオープン
- 3月 町防災行政無線デジタル化事業完了
- 7月 図書館と会議室等の機能を備えた町立図書館が棚倉駅前に完成

## 平成26年

- 1月 八溝山周辺地域定住自立圏協定を締結
- 3月 棚倉町総合体育館耐震補強改修工事完成
- 3月 「流廃寺跡」国史跡指定
- 9月 第6次棚倉町振興計画策定
- 11月 株式会社伊藤園と自動販売機設置契約に関する覚書を締結
- 12月 馬場都々古別神社本殿が国重要文化財指定



## 平成27年

- 2月 「棚倉ふるさと検定」開始
- 2月 株式会社東邦銀行と包括連携協定を締結
- 4月 棚倉町立図書館指定管理者制度開始
- 4月 しらかわ地域定住自立圏協定を締結
- 9月 町ホームページリニューアル
- 9月 日本自動車連盟(JAF)県支部と観光協定を締結
- 10月 全国京都会議加入
- 10月 第9回市町村対抗軟式野球大会 準優勝
- 11月 福島大学と相互協力協定を締結

## 平成28年

- 2月 証明書コンビニエンスストア交付開始
- 2月 証明書自動交付機終了
- 3月 山岡小学校校舎耐震改修工事完成
- 4月 町税等コンビニエンスストア納付取扱開始
- 4月 棚倉幼稚園3年保育開始
- 6月 棚倉スポーツクラブ設立
- 10月 第11回全日本小学生ゴルフトーナメント開催

## 平成29年

- 9月 社川幼稚園大規模改修工事完成
- 12月 棚倉町健康づくり交流館(いきいき健幸ふらざ)オープン
- 12月 棚倉保育園新園舎建設工事完成
- 12月 棚倉幼稚園園舎増築工事完成

## 平成30年

- 1月 近津幼稚園大規模改修工事完成
- 2月 棚倉町八槻観光拠点施設(こんこん)供用開始
- 2月 災害発生時における要配慮者の輸送協力に関する協定(あいタクシー株式会社、有限会社ときわタクシー、有限会社近津タクシー)を締結
- 4月 棚倉町立幼稚園全園3年保育開始
- 4月 棚倉町歴史的建造物八槻家住宅公開
- 6月 公益社団法人福島県宅地建物取引業協会と空き家の媒介等に関する協定締結
- 7月 棚倉町タクシー利用料金助成事業開始
- 9月 県南地方総合防災訓練を実施
- 10月 大阪府泉佐野市と「ふるさと逸品協定」締結

## 平成31年

- 2月 棚倉城跡国史跡指定
- 4月 福島県立修明高等学校と連携協力に関する包括協定を締結
- 4月 ルネサンス棚倉食品加工研究開発施設オープン

## 令和元年

- 5月 防災行政無線の時報曲を「棚倉へ会いにきて」に変更
- 7月 保健福祉センター内に棚倉町子育て世代包括支援センターを開設
- 10月 幼児教育・保育の無償化開始
- 10月 町公式 Instagram、たなちゃん公式 Twitter 開設
- 10月 (一財)地域活性化センターと「地方創生に向けた人材育成に関する連携協定」締結
- 10月 郡内4町村で東白川地方自転車活用推進協議会設立
- 10月 令和元年東日本台風(台風19号)による被災

## 令和2年

- 1月 通年議会を導入
- 3月 第2期棚倉町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定
- 6月 棚倉町歴史的風致維持向上計画策定
- 6月 日本郵便株式会社と包括連携協定締結

## 令和3年

- 3月 棚倉城跡保存活用計画策定
- 3月 棚倉町環境基本計画策定
- 3月 児童生徒1人1台タブレット端末整備完了
- 3月 山岡小学校閉校、棚倉小学校へ統合
- 3月 台風等豪雨災害における一時避難場所に関する協定締結(日本精工株式会社福島工場、堤区)
- 4月 全町小中学校スクールバス運行開始
- 4月 幼稚園送迎バス使用料無償化
- 5月 ヤマト運輸株式会社と地域包括連携協定締結
- 6月 みやぎ生活協同と地域の見守りの取組みに関する協力協定締結
- 9月 明治安田生命保険相互会社と健康増進に関する連携協定締結

## 令和4年

- 3月 高野幼稚園閉園、棚倉幼稚園へ統合
- 4月 棚倉町テレワークスペースオープン
- 12月 株式会社シーズと子ども育成事業協定締結
- 12月 台風等災害時における一時避難場所に関する協定締結(株式会社シーズ、流区)

## 令和5年

- 3月 株式会社日本政策金融公庫と包括連携協定締結
- 3月 センコークリエイティブマネジメント株式会社と包括協定締結
- 3月 棚倉城跡整備基本計画策定
- 10月 大規模災害時における「ふくしま災害時相互応援チーム」による相互応援等に関する協定締結(福島県及び県内59市町村)

## 令和6年

- 1月 災害時における非常用食料品(アルファ化米)の供給に関する協定締結(藤田建設工業株式会社関連グループ企業SDGs委員会(加盟5社))
- 1月 棚倉運動広場大規模改修工事完成
- 3月 災害用トイレトレーラー導入
- 3月 一般社団法人助けあいジャパンと「みんな元気になるトイレ」派遣協力等に関する協定締結
- 3月 社会福祉法人棚倉町社会福祉協議会と災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定締結
- 3月 高野地区の指定する小学校を棚倉小学校に変更  
高野小学校の通学区域を町内全区域に変更